

広報



かつうら

第26号 昭和47年8月1日

町民のうごき

世帯数	1,941	}	男	4,218
人口	8,525		女	4,307
	男	女	計	
出生	6	4	10	
死亡	4	3	7	
転入	7	8	15	
転出	8	8	16	

昭和47年7月1日現在

発行所 徳島県勝浦郡勝浦町

横瀬の町に水銀灯が
七月二十日勝浦町商工会事業による水銀灯設置の
落成式を祝っての阿波踊り



暑中お見舞い 申し上げます

言うまいと思っても、つい口に出てしまうこのごろの暑さです。

町民のみなさんにはお変わりなく元気で過ごしでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

わたくしたち町政にたずさわる者として町民各位のご要望にそうべく、広い視野に立ち現実に即するよう鋭意努力しています。おひまなおりには「みなさんの役場」にお気軽にお立ち寄りください。

酷暑の砌皆さまがたのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

八月盛夏

勝浦町長	堀 福
助役	小 兵
収入役	仲 野
勝浦町議会議長	岡 本
副議長	若 木
	照 男

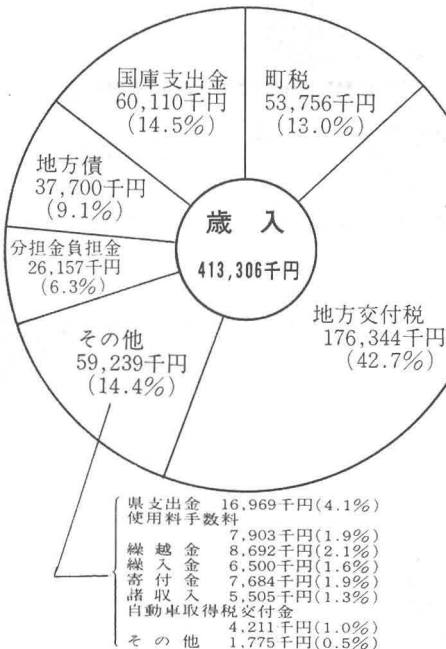
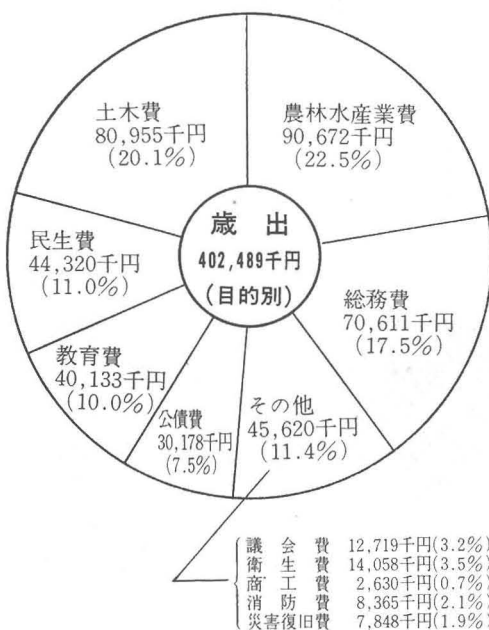
おもな内容

- | | |
|------------|------|
| 一般会計決算概要 | (2) |
| 農業センター業務紹介 | (3) |
| 国民年金だより | (4) |
| 議会だより | (5) |
| 水泳事故防止十カ条 | (6) |
| 夏休み中の生活指導 | (7) |
| 交通安全講座 | (8) |
| 同和教育シリーズ | (8) |
| 今月の農作業メモ | (9) |
| インタビュー | (10) |

一般会計決算概要

昭和四十六年度の一般会計決算の概要は、次のとおりです。

歳入合計 四一三、三〇六千円
 歳出合計 四〇二、四八九千円
 差引 一〇、八一七千円



完成した農業センターの全景



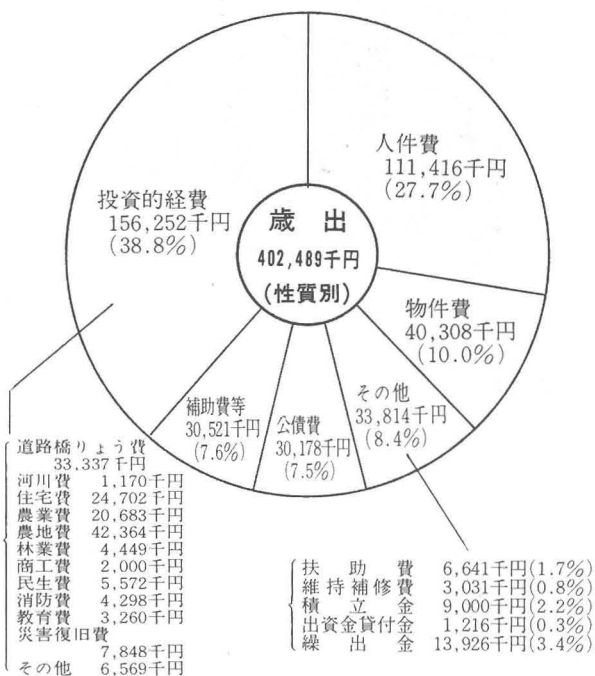
農業センターの落成式

— 盛大に挙行 —



落成式における武市県知事の祝詞

かねてから勝浦中学校西側に建設中であつた農業センター



(かんきつ生産調査分析施設・果樹機械化センター)がこのほど完成。さる六月二十八日、武市県知事を迎え、県・農業団体・果樹広域関係市町村・農協組合代表者など関係者多数出席して盛大に落成式が挙行された。

この施設は県下果樹広域主産地を形成する関係六市町村一〇農協管内のうんしゅうみかんの栽培技術の統一向上と果実品質の維持向上・関係地域内の販売対制の整備と流通の大型化に対応するための意志統一・うんしゅうみかんをとりまく情報の交換と対応策の検討・など貯蔵みかん産地としての産地体制の強化を図るを目的とするものです。

【工事概要】

- (一)かんきつ生産調査分析施設
- 面積 四二・〇一㎡
 - 構造 鉄筋コンクリート
 - 施設 一階事務室九八・一㎡
二階会議室 一一七・〇㎡
- (二)機械化センター
- 面積 三〇・〇㎡
 - 構造 鉄骨造り
 - 施設 (屋根スレート葺き) ブルドーザ 三八台
- (三)総事業費
- 一八、〇一九、二六〇円
 - (国県補助九、〇〇〇、〇〇〇円、広域関係市町村、農協負担金九、〇一九、二六〇円)

農業センターの業務紹介

果樹広域主産地形成事業として設置した農業センター（かんきつ生産調査分析施設・果樹機械化センター）の管理・運営・機構は次のとおりです。

管理運営

果樹主産地を形成する関係市町村・農協が徳島地域果樹広域主産地形成事業協会（会長勝浦町長堀金）を設立し管理運営にあたっている（関係六市町村一〇農協は次のとおりです）。

（市町村）徳島市・小松島市・阿南市・勝浦町・佐那河内村・上勝町

（農協）徳島市（佐那河内も含む）・小松島市・立江・阿南市・桑野・大野・加茂谷・勝浦町・生比奈・上勝町

機構

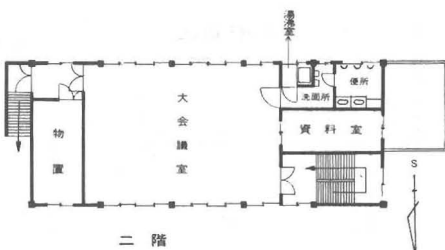
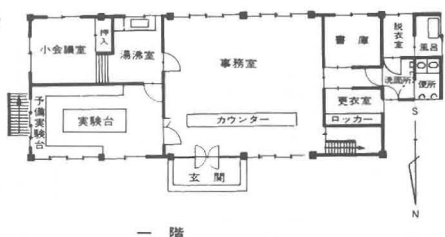
かんきつ生産調査分析施設
所長一名 事務局長一名
広域係・町内係・農業機械係



農業センター職員の執務風景

庶務係の四係に分かれています。

（事務分掌）
◎所長 安達 義正（非常勤）
（前県果樹試験場長）



◎事務局長 吉岡喜美雄
一、広域係 未定（非常勤）
（県農協連合会から派遣の予定）

二、町内係
係長 長町 豊秋
技師 西野 仁美・吉野 隆生・西 広美

三、農業機械係
ブルトーザのオペレータ 数名

四、庶務係（臨時事務職員）一名
以上の機構をもって業務を推進しています。

町内担当技術員の職務（専門項目）と
担当する地域は次のとおりです

みかん栽培の技術指導をより
いっそう充実するため農協を単位として担当地域を決めました。

氏名	担当地域	専門項目
長町係長	勝浦町農協管内	果樹・野菜
吉野技師	〃	果樹・花卉・特用作物
西野技師	生比奈農協管内	果樹・畜産
西技師	〃	果樹・作物

みかん現地講習会に
出席する技術員の
担当地域を決めました

みかんの栽培技術の向上を図るため毎年（年六回余）現地で講習会を開催しています。

ことし（一年間）は技術員が地域を担当し現地講習にあたることになりました。

◎担当する地域は次のとおりです。

担当者氏名	担当地域名（果樹研究会単位）
（普及所）前田所 長	石原・立石・内谷・立川・富重・久保の内・旭・北山・平野
（普及所）堀金技術員	黒岩・今山・中山・出美勢・与川内
（農業センター町内係）長町係 長	久国・横瀬・稼勢・中山・棚野・与川内
（農業センター町内係）西野技師	沼江・掛谷・中角・生名・星谷
（農業センター町内係）西技師	山西・今山・中角・生名・星谷
（農業センター町内係）吉野技師	前川・日浦山・松尾・宮西・久保の内・旭・北山・平野・内谷・黄栗

農業センター

新規に電話を架設

電話番号 3358 番です
3359 番です

普及所 2198 番です
勝浦支所

お気軽にご利用下さい。

農業センター 小松島農業改良普及所勝浦支所

事務所移転

小松島農業改良普及所
勝浦支所

毎週水曜日は
農事相談日です

お気軽にご相談ください

農業センター町内係では、農家のみなさんのみかん・水稲その他農作物の栽培・経営など農業全般につき町内三カ所において相談に応じています。どんな

このほど農業センターに事務所を移転しました。農家のみなさんのご相談はもとより管内農業生産・販売・所得の向上に努力すべく所員一同張り切っています。今後ともよろしく願います。

ことでもけっこうです。係では農家のみなさんのお越しをお待ちしています。どしどしご利用ください。

農事相談日 毎週水曜日
（午前九時から四時まで）

一、勝浦町農協 担当 町内担当技術員
二、生比奈農協 担当 町内担当技術員
三、農業センター 担当 普及所技術員 農業センター

国民年金
だよりごぞんじですか？
追納制度を

国民年金保険料を過去において免除されている方は、十年間のうちに支払えば、当時の保険料で納めることができます。たとえば昭和三十七年八月分が免除されていれば、今年の八月中に支払うとその当時年令が三十

五才未満の方は百円、三十五才以上の方は百五十円で支払えます。免除されたままですと、年金を受けるときに、免除された期間については納付している人の三分の一しかもらえません。余裕がございましたら将来のた



住民福祉課

め、ぜひ追納制度をご利用いただき、住民福祉課国民年金係までお申し出ください。

特長

一、コンクリートブロックを用い、モルタルを使わずに重ね

ために、自分の家から出たゴミは、責任を持って処理しましょう。十分間あればできあがりの焼却炉を紹介します。

「生活環境を良くするために」

簡易焼却炉の作り方



簡単に便利な焼却炉

大水のあと
の勝浦川の川
岸は、その流
域に住む住民
の足跡です。
わたくしたち
の生活環境を
良くし、美し
い自然を守る

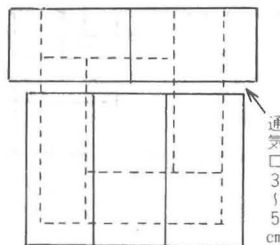
作り方

材料

12 cm ブロック 16 枚
10 cm ブロック 9 枚
煙突被覆金網 1 枚

一、地面を平らにし10 cm ブロックを①のように並べる。
二、点線の部分に12 cm ブロック

図1 基礎平面図



現在、数カ所モデル設置でありますが、詳しくは普及所へおたずねください。

三、外壁は12 cm ブロックを用いるので、相当な外力を受けてもくずれなく、ロストルを使わないので、着火と同時に良く燃え、炉にふれてもあつくない。

るので誰でもでき、とりこわし、移動ができる。

二、費用がきわめて安い。

三、炉のフタは10 cm ブロックを用い、煙突用として二段積み上に金網をかける。

注意事項

家や可燃物とひとつけないようにし、通気口はときどきそ

うじする。ゴミは投入口フタをずらして入れ、火をつけ、

灰かき出し口をフタしてから

燃やす。

を四段交互に積む。灰かき出し口は12 cm だけあらかじめかぎとる。

図2 最上部平面図

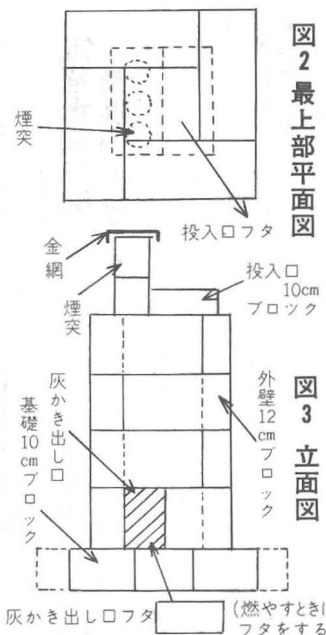


図3 立面図

ごあいさつ

「この施設が勝浦の喜びであり誇りとして」

かんきつ生産調査分析施設

所長 安達 義正

果樹広域主産地形成事業協会の堺会長さんから、去る六月二十八日付で、かんきつ生産調査分析施設の所長を委嘱されました。またあらためて、勝浦町のみなさんとお近づきになりました。縁というものは不思議なものだと思います。

この地球の上で、数十億年の昔をかえりみしても、また未来を考えましても、お互い一人ひとりと、まったく同じ生きものはかつて存在しなかったし、今後とも存在しないといわれます。この勝浦で袖触れ合うお互いは誠にあり得ぬ縁のもので、あい会った存在です。この不思議な出会いを大事にしたいと考えています。

この施設は大きな夢から生まれたものと賜わっています。赤ん坊は生み落とされました。育てたいと思います。また育ててもらわねばならないと思います。

人それぞれに思いがあります。その思いが良いものであればあるほど、正しければ正しいほど、その思いがまともなものであるのです。経済の原則の中にも、「結合の矛盾」という言葉があります。その一つ一つは間違いないのに、その全てを合わせるとまちがいが出てくることです。ちやうど今日の日本の企業活動のようなのではないでしょうか。各企業は、互いに最善をつくしながら、日本自身は諸外国から袋たきにあわんとしています。

この施設が、勝浦の喜びであり、誇りとなりたいたいものです。各位のごべんたつとご支援をお願い申し上げます。

★ 六月定例会 ★

一般会計補正予算

農業技術センター設置および
管理に関する条例の一部改正

ほか六議案を可決

六月の定例町議会は、六月二十日開会し、六月二十四日閉会しました。この定例議会では町長から提出された議案八件、陳情書等の処理三件、決議一件、発議一件を原案通り可決されました。

会議の経過

▽第一日 六月二十日

午前九時開会
岡本議長より諸般の報告のあと日程に入る。

のため休会。二十三日午前九時開会することに決し閉会する。
▽第二日 六月二十三日

午前九時開会
岡本議長より諸般の報告のあと日程に入る。

町政に対する一般質問

中西晴美議員

一、環境保全と公害対策ならびに産業振興との総合調整について

二、交通安全について

小関武夫議員

一、県道第六次道路整備計画について

(イ) 昭和四十八年度計画

(ロ) 新浜勝浦線延長について

二、工場誘致問題について

(イ) 公害について

(ロ) 敷地問題について

西浜勝巳議員

一、町長の政治姿勢

(イ) 市町村連合法案対策

(ロ) 町職員との対話について

(イ) 町職員長期臨時雇用者の取扱について



議会事務局

(ニ) 小、中学校用務員の労働条件改善について

二、町内誘致工場の見通しについて

三、町内下水、排水対策の将来展望について

四、道路問題と交通安全対策について

五、飲料水欠乏地区に対する対策について

六、スポーツ振興と学校施設使用の調和策について

佐藤寿治議員

一、町長の町民党としての信念と姿勢について

二、小学校の統合について

岡敬二議員

一、農業センターの機能と組織について

二、県道交通の確保について

三、正木ダム建設にともなう補償等について

四、学校教育と社会教育について

五、農業従事者の農薬被害について

六、一年を過ぎた堺町政について

坂口貞雄議員

一、道路行政について

(イ) 北岸線(勝浦新浜線)の整備について

(ロ) 今山石原坂水橋建設について

(イ) 補助率の引上げについて



二、ブル建設工事について

味間喜久雄議員

一、交通安全対策について

(イ) 行政と交通安全協会と警察の三者が一体となって振興対策を講ぜよ

(ロ) 罰金や懲役だけでは交通事故はなくなる。これの専任職員を置かないか。

(イ) 交通事故における医療費給付について

二、工場誘致の敷地について

三、下水排水の抜本対策について

滝口良一議員

一、生名谷川の早期完成とそれに伴う補償行為について

二、徳島上那賀線の局部改良を除く路上整備について

三、地方行政の断絶について

平岡 武議員

一、町営住宅について

二、社会教育問題について

三、勝浦町使用料条例の一部を改正する条例の制定について

(原案の一部を議員提案により修正なし議決)

四、勝浦町営土地改良事業の経費の賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について

以上が六月議会の主な議決事項です。

議会事務局

獵友会だより

狩猟者講習会の開催

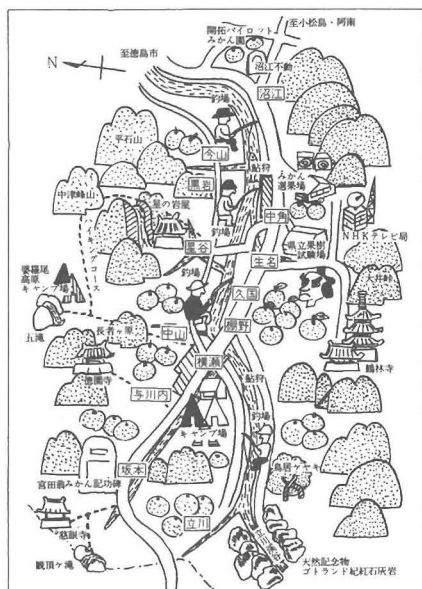
この講習を受けたいと
免許状の交付が受けられません

昭和四十七年度狩猟者講習会が九月初旬に実施される予定です。この講習会は、狩猟について必要な知識を習得させると共に、火薬類および銃砲等の取り扱いにおける危険予防と狩猟の適正化を図ることを目的としています。この講習を受けていない者は、免許状の交付が受けられません。はじめて狩猟免許の交付を希望する方、また経験者であって講習修了証明書の有効期限(三年)が過ぎている方は、町役場産業課へ受講の申し込みをしてください。産業課



町からなくしましょう。

水が大量に集まるか



會長
堀 福一（三溪）

十) カ
ラ
ズ
ぶ
ぐ
二
局
、
二
重
の



避難するときの注意
○災害の状況をあまぐみず、消
防、警察、その他防災関係者
の指示に従い冷静、迅速に避
難してください。
総務課

四国電力株式会社

- 副会長 岡本 照男 (沼江)
 理事 谷口 潔 (三溪)
 平 忠 (棚野)
 岡本 敬二 (三溪)
 山本 圭一 (生名)
 佐藤 茂治 (坂本)
 近藤 貞雄 (沼江)
 坂口 秋太郎 (星谷)
 敏鎌 秋太郎 (久国)
 堀 一美 (棚野)
 中根 重長 (生名)
 岡 伝 (久国)
 中西 恭雄 (星谷)
 中津 公雄 (生名)
 古田 源一 (三溪)
 坂井 嘉平 (三溪)
 前田 彰一 (沼江)
 監事 滝口 良一 (生名)
 原田 喜八郎 (棚野)

- 一、ひとりはおふない
たしかなつれと。
- 二、許しをうけよ
こっそり行くな。
- 三、ぜったいに、泳ぐな
きめた所以外では。
- 四、病氣のときは泳ぐのはやめて
五、いつもきまった時間に、し
っかり泳げ
- 六、泳ぐ前には、わすれな体操。
七、むりすな、いばるな、ゆだ
んすな。
- 八、つれをわすれな、はなれるな
九、泳いですんだら、まっすぐ
家へ。
- 十、あぶないときは、おちつけ
さけべ。

勝浦町教育委員会

夏休み中の生活指導 校外補導に協力を

小学校から



いよいよ七月二十六日から、子どもたち待望の夏休みにはいります。

子どもたちの夢は、海に山に川にと果てしなく、のびのびと展開されることでしようが、長期にわたる夏休みを有意義に過ごさせるためには、子どもたちが自分で考え、自分で実行し、そして反省するという計画的・自主的でしかも趣味と個性の豊かな生活設計を樹立することです。

しかし、小学生は、まだ、自分自身で計画・反省することについていろいろ問題が生まれてくるため、家族が子どもの計画・実行、反省することなど、夏休みの生活について、じっくりと話し合われなければ、とかく生活が不規則に乱れがちであり、また思わぬ危険や誘惑につき当ることになりますので、次の事項をご参考の上、それぞれのお子さまと相談し、本年の夏休みがきまらるうちに、自由で健康でしかも安全で明かるく楽しい生活を過ごせるようお願いいたします。

◎毎日規則正しい生活をさせてください。

・休みの最初に子どもとよく相談し、無理のない実行可能な計画を休みの生活全般からたて、学年に応じた生活記録を

つけさせ、実行のようすに留意し適時に指導してください。

◎計画によつて学習や自由研究をさせてください。

・朝の涼しいうちに、学年に応じた勉強や自由研究をさせ効果のあがる学習をさせてください。

◎健康衛生に注意し、身体を鍛練に努めてください。

・からだの悪い子は、長期の休みを利用して治療し、健康な身体をつくるようにしてください。

・早寝・早起き・歯磨き・外出時の着帽など健康上の良い習慣をつけさせてください。

・暴飲・暴食や陽転者の留意事項を守り、身体を鍛える方法を考えてください。

◎安全に気をつけて楽しく元気に運動や遊びができるように配慮ください。

・水の事故、交通事故、感電事故、花火、トンネル遊びなどにじゅうぶん注意し、安全を第一にしてください。

・外出するときは必ず行先などを言う習慣をつけ、町外(小松島、徳島など)に行く時はおとなの付き添い以外は行かないようにしてください。



・子ども会の諸行事には進んで参加させ、よき助言者になってください。

◎その他

・手伝いも勉強の一分野と考え、と共に家族の一員としての連帯感を養う意味からも、年令に適した役割を話し合いの上で決める実行させてください。

・子どもは非行や危険な遊びな

中学校から

町民の皆さん、大へん暑い日がつづいておりますが、おかわりございませんか。

日ごろは何かと勝浦中学校のために、ご協力いただきまことにありがとうございます。

さて、お子さまがたにとって、待望久しい夏休みは、さる七月二十六日から八月三十一日までの三十七日間となっております。

この夏休みの意義ある過ごし方についてはあらためて申しあげますが、ごいざいせんが、大別しますと、

一、計画をたてて、自主的に研究学習できるようにする。

一、悪かつた点を反省し、個性や長所を伸ばすようにする。

一、家庭の仕事を理解し、家族関係を親密にする。

一、病気のけがなどの治療をする。

一、疲労を防ぎ、体力をつける。

などになるでしょう。

何しろ、約四十日もの長い間お子さまをお返しするわけですから、学校といたしましても、じゅうぶん計画は立てさせ、怠惰に流れず有意義な休みとなるよ

どを見た時は、自分の子どもと同じ気持ちで、愛情をもつて注意を与えるようにし、小さい善行と思われることでも、その時は、ほめてあげてください。



う極力注意や指導はいたしておりますが、ややもすれば、ネジがもどつてしまい、得るところの少ない休みに終わってしまう生徒も少なくありません。

そこで、ご家庭の皆さんには、じゅうぶんご指導をお願いするとともに、夜間の外出や無断外泊、あるいはオートバイの無免許運転、また、危険を伴う水泳や花火には、お子

さまを持たれていないご家庭にもぜひご協力をいただき、見つけしだい現場で

ご指導くださるなり、学校へご連絡いただきたいものです。

また、生徒たちに「家庭を知らせる」には、またとないよい機会です。手に合った手伝いは

ほとんどんさせていたでいて、勤

労の苦しさや、お金の値打ちを知らせてやってください。最近の青年や子どもたちはよいところをたくさん持っています、が、労を惜しむ傾向が強いのは大



な欠点だと思えます。だから、家庭では、この際、しっかり仕事をさせてほしいものです。

また、この期間は、長編小説を読んだり、ふだんできない研究物をまとめたり、また、学力のおくれをとりもどすには、絶好のチャンスです。ですから大いに励ました、意欲づけてやってほしいものです。

そのほか、いろいろの催しものや、納涼行事、民俗行事など多い時で、どうしても夜ふかしをしがちになります。中学生は、からだは大きいても、心は子どもですし、若さにまかせてブレイキがかからないときもありますから、こうした点もよくご配慮いただき、九月一日の新学期には、全員元氣よく真黒に日焼けした顔で登校してほしいものです。

思うに中学生がいちばん大きく変わるのが、この夏休みと見られています。新聞などに見るように一つの思わぬ出来事が将来の運命を狂わしてしまつた例も、たくさんあります。なんでもなくことがきっかけとなつて、よくも悪くもなつていく、それが若者のよいところでありまた反面未熟さでもあるわけですね。

お子さまの未来のため、次代をになう若者のため、こうした点をよくご理解いただき、青少年とりわけ中学生の善導と健全育成にご協力くださることを心よりお願い申し上げます。



交通安全講座

毎月一日は

歩行者安全デー

(その十一)



自動車運転する人も歩行者保護義務違反をしないよう正しい安全運転をして共にいたましい交通事故を勝浦町から追放しようではありませんか。

小松島警察勝浦派出所

湯浅部長

本年七月一日から毎月一日が歩行者安全デーとなりましたので今回は、歩行者の安全等について説明します。

(一) 昨年一年間における小松島警察署管内の人身交通事故は、五百六十五件そのうち歩行者および自転車利用によるものが二百二十八件(四〇・三%)を占め、このなかで子どもと老人が百七十件(七四%)の高率である。さらに歩行者事故九十八件のうち、横断歩道外の横断が二十八件、路上の飛び出し二十一件、車の直前直後の横断十三件、その他二十七件となっており、何等かのかたちで道路の横断に關したものが六十二件(七三・四%)となっており、また自転車事故についても道路の横断に關連するものが百三十件のうち百八件(八三・三%)となつてゐる。

このように歩行者ならびに自転車利用者のきわめて初歩的、基本的な交通ルールの不遵守すなわち交通モラルの欠如が事故の要因となつてゐるのです。

(二) この際道路交通に關係あるすべての人に交通ルールを徹底さし、交通事故防止と交通安全思想の普及徹底をはかる必要がある。毎週一日を歩行者安全デーとして指定し、あらゆる安

全施策を強化推進することになつたのです。

(三) 歩行者の心得については本広報紙六月号に詳しく説明してありますので、もう一度読み直して正しい通行をしてください。

自転車利用者は

(1) 左側端の一路通行
(2) 右左折および停車時の合図の励行

(3) 二人乗り、片手運転の禁止
(4) 夜間の無灯火、ブレーキ等不良車乗用の禁止

(5) 飲酒、ふらつき運転の禁止
以上の点を守ってください。

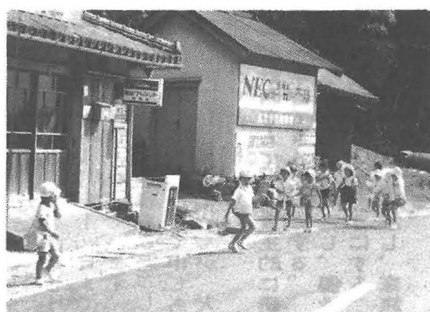
同和教育シリーズ

水平社運動の発展

(その十一)



すでに前号の「広報」で述べたように、大正期におけるデモクラシーの普及と、米騒動やロシア革命の影響は、搾取され抑圧されてきた労働階級や未解放部落民に、大きな勇気と励ましを与え、社会改造、身分解放の動きはにわかに高まりをみせたのであった。すなわち、一九二〇年(大正十一年)東京で開かれた第一回メデーや、また一九二二年(大正十一年)三月三



ることによつて得られるとかかれています。

そのため、当然、差別の怒りは、差別するものに対して、徹底して糾弾することから始まつた。それがまた、水平社組織の広がりエネルギーともなつたのである。

糾弾は個人だけではなく、差別をするものすべてがその対象となつた。役所、裁判所、軍隊にいたるまでその鋭い針先を向けていった。

そこには、たしかに行きすぎの面や、激しすぎる場面もみられた。しかしながら、この糾弾闘争により差別を公然から、非公然へと追いやられ、差別の不合理さが認識されるようになったのは大きな成果といえるであらう。

世界恐慌と

国民生活の窮乏

昭和四年(一九二九年)突如アメリカにおこつた不況の波はたちまち全世界に深刻な影響を与え、きびしい恐慌へと発展し、その影響たるやじつにはかりしれないものがあつた。それは、現代に生きるわれわれには想像を絶するみじめなものであつた。

あの東北地方の穀倉地帯でさえ、空腹のために体育の授業が成りたらず、子どもたちは学校にも行かず、いつ来るともわからない列車の窓から投げられる弁当のから箱を待ち、それに群らがついていった。

都市でも、夜逃げ、行き倒れ娘の身売り、親子心中が相つぎ、汽車賃さえ持たない出かせぎ者

が、東海道に列をつくつて、その跡をたなかつたという新聞報道や、妻子を連れた失業者が、お寺で昼飯を恵まれながら、とぼと故郷を目ざし帰つていった物語に、その深刻さがしのばれる。



こうしたきびしい不況は、ただでさえ、規模が小さく不安定な皮革、製靴、履物製造業などの部落内産業はつぎつぎとつぶれ、また、働きたくとも職はなく、人の施し物や物乞いによりはそぼそと飢えをしのいだ人々も少なくなつた。当時完全失業の数は部落の四分の一以上を占めていたと思われるほどである。

つづく

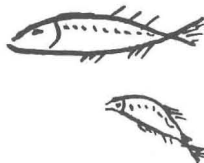
次号は「太平洋戦争と部落解放運動の盛衰」について

淡水魚

「アメゴ」養殖の講習会

勝浦町の観光開発、米の生産調整対策の一環として、アメゴの養殖講習会を八月中旬に開催いたします。

受講希望者は、八月十日までに、事前に町役場産業課までお申し込みください。



産業課

今月の農作業メモ



本格的な夏です。連日、晴天で高温の日が続きます。

ミカンの春葉は完全に緑化し、一人前の葉となり、炭素同化作用を能率よく行なえる態勢ができています。

七月から行なっている摘果も、今月はいよいよ総仕上げの時期です。

真夏の太陽を受けてミカンの葉は、養水分を吸収し、炭水化物の合成にフル運転を続けており、少しの無駄もなく活用させるために、仕上げ摘果によって、樹体内養分のバランスをとってやりたいものです。

「柑橘」

一、摘果
生理落果後の果実は、収穫果となる確率が高いので品等を低下させる果実の摘果と、着果調節を兼ねて仕上げ摘果をしましょう。

二、病害虫の防除
(1)コクテン病は、後期感染予防のため下旬に、ジマンダイゼ

ン六〇〇倍液を散布

(2)サンホーゼカイガラムシは、摘果作業中に、虫の寄生をみたら、ダイセンにエルサン八〇〇倍液を混用で散布する。

(3)タニ類は初秋期は、ケルセン一、五〇〇倍液です。

「柿」

一、病害虫の防除

(1)ヘタムシ、フジコナカイガラムシは、上旬にパダン一、〇〇〇倍、デナボン各八〇〇倍液いずれかを散布する。

「水稲」

一、病害虫防除

(1)モンガレ病は、上旬にネオアソジン粉剤四kgを散布

(2)白ハガレ病は、台風前後に、サンケル粉剤四kgを散布

(3)メイ虫、ウンカ、ヨコバイ、いもち病は、出穂前にキタスマリナック粉剤四kgを散布
農業技術センター

「農薬の安全対策」

「勝浦町集中管理防除組合」設立

農薬の取り扱いについては、危害を未然に防止するため、適正な処置をとらなければなりません。そこで本町に「勝浦町集中管理防除組合」が設立されました。農家の方全部を組合員として、勝浦町農協、生比奈農協に管理班を設定し、農協ごとに農薬に対する安全対策事業を実施します。農薬は農業生産上切り離すことのできない存在であ

貯蓄ポスター作品の

入選決まる



坂本小学校児童生徒を対象に募集しました貯蓄ポスター作品を七月八日開かれた審査会において厳正な審査の結果、つぎの方が入選と決まりました。

○応募者

三年生から六年生 四八名

○入選作

・特選 平昌久美
・秀作 井上玄雄
三年 新居寛治
四年 湯浅和代
五年



ります。それだけに農薬の散布回数も多く、ともすればマンネリ化され、農薬の性質作用、危害の認識を欠く散布方法がとられ、軽度の中毒症状はつきものと考える者があり、これらが回を重ね蓄積し健康を害する原因となります。本組合は農薬散布上の健康管理と散布後の残余農薬空びん、空袋の安全処理を目的とした次の事業をいたします。

- 一、農薬取り扱い者、散布者の健康管理
 - 二、研修会の開催
 - 三、農薬、空びん、空袋の回収処理と残余農薬の安全取り扱い指導
 - 四、農薬散布後の健康状態の調査
- 右の事業はすべて組合員の認識とご協力がなければ達成できません。農家自身を守り周辺の町民の健康を守るため本事業は時代が要求するものでもあります。絶対的なご協力をお願いします。細部の事業についてはそのつど指導部長または果樹研究会役員の方に依頼してお知らせします。



・佳作 中尾淳子
三年 上平博幸
四年 池窪篤子
五年 佐藤郁子
五年 新居真佐子
六年 北峰小百合

右の各部門に入選された方に、賞状及び記念品を贈呈すると共に応募者全員に記念品を贈りました。

なお、坂本地区は貯蓄実践地区として指定を受け貯蓄思想向上のためいろいろな事業を実施していますが、今回もその事業の一環として実施したものです。

産業課





インタビュー

わたしたちの町

この自然美を第二のふるさとに

横瀬 坂 脇 み よ し



京都からこの町にきたのは、昨年の春でした。不安のかたまりで見る初めてのこの町は、なんとなく寂しうに思いましたが、わたし自身が住んでまわりのかたがたに、親切にしていただきやばりいなかでなければのあたたかみがあり喜んでおります。昨年は鮎を取りにつれていつてもらったり、山へみかんを取りに行き、その場でいただいたあの味は最高でした。朝目をさますと小鳥の鳴き声、昼はせみの声、夜はこおろぎの声、雨の日にはカエルの声、そして山と川の美しさ、これだけの自然が保たれることは本当にすばらしいと思います。はじめは買物に行っても、なかなか人を見てはるみたいではずかし小松島までよく行きまし

た。言葉も少しわからないのがあったのでよく聞きなおしたものです。でも一つこまった事はゴミの捨て場所です。川の横に穴が掘ってありますけど、あの美しい川がよごれるみたいでいまだにお母さんに持っていて捨ててもらっています。お盆には阿波踊り、十月のお祭りに花火がとつてもきれいで久しぶりに子どもを思い出します。やはりいなかでなければ、このような楽しみは味わえないでしょう。ことしは、実家の両親や友だちを呼んで少しで

もこの素朴感にしたいと思っています。わたしは、横瀬で大好き「ジャンボ」をやっていますが、この店をやつて本当によかったと思います。もし、この店をやらなければ、わたしはこの町で知る人も少なく寂しい思いをしているし、この町の良さもわからなかったでしょう。お客さんからいろいろなことを教えていただき、これからも、もともとと学んで行くつもりです。京都にはない良さが、この町にはいっぱいあるし、この町の自然美を大切に、わたしにとつて第二のふるさとと自慢したい。このような未熟なわたしにこんな機会を与えていただき本当にうれしくこれからの勝浦町の発展を楽しみにわたしなりに、いっしょけんめいがんばって行きたいと思っています。

消費生活

なすからし漬

(いつでも)

塩漬なす	1kg	塩漬なす	1kg
からし粉	100g	からし粉	80g
砂糖	200g	砂糖	200g
水飴	200g	糖又は味りん粕	200g
食塩	50g	醬油	0.4ℓ
糖又は味りん粕	100g		
湯	0.3ℓ		

要 点

- (1)なすは塩ぬき後、しばって5～6割の水を除く。
- (2)からしは摂氏50度位の湯の一部でぬる。
- (3)調味液を沸かしてなすを入れ5～10分煮込む。
- (4)からしと糖又は味りん粕を合わせたものを加えてよくまぜる。
- (5)からしがぬけないように密封する。

応 用

- (1)調味液に酢を加えてもよい。
- (2)なすのほかに瓜、きゅうり、たくあんなども材料とする。



横瀬小学校のプール建設工事

すすむプールづくり

プール開きの予定

横瀬小学校 八月一日

勝浦柳壇

出詠は毎月末日までに三句ハガキで送り先 勝浦町三溪 榎勢広夫(都景)まで 町内在住の方に限ります。

雨もりを受ける器のまだ足らず 婆さんのお供孫にもある打算 家計簿に小さく入れる洋カッラ 梅雨晴に戸毎に開く展示会 捨て置けば昼まで起きず日曜日 世話好きの夫も家では世話がやけ 貴重品と云れる程もない財布 カラシ漬はめて涙をふいている あてのない旅に孤独がついて来る ルージュ濃く今日の不貞の顔作る 童心に返り蜻蛉に廻す指 晩酌の肴になつてやるつもり

横瀬 山口 満月
坂本 中川 野子住
坂本 山本 令子
与川内 阿部 代里恵
中山 武藤 古狸
沼江 丸山 香月
生瀬 溝内 英男
横瀬 倉橋 加辻
横瀬 中田 万里
横瀬 田中 みさを
横瀬 都景

お誕生おめでとう

沼江 齋藤 勲 長男 洋一郎
中角 大西 敏夫 長男 慶 吾

おくやみ申します

坂本 河野 タネ
三溪 中岡 スキ

ご結婚おめでとう

(上) 勝野 町 田中 健
(中) 三溪 角 谷口 新太郎
(下) 三溪 角 谷口 新太郎

沼江 杉本 吉男 長男 卓司
沼江 福徳 利夫 長女 子
沼江 北島 邦彦 長女 子
坂本 杉本 義弘 長男 子
星谷 福野 稔 長女 子
中角 安東 健次 長男 子
沼江 秋本 三郎 長女 子
沼江 紺堂 浅二 長男 子
吉美 英智 子
信穂 樹 子